

ポーラス状早効きケイ酸入り  
総合ミネラル土壌改良材

Net  
20kg

# だんぜんシリカ

〈有機造粒〉



だんぜんシリカ

Net 20kg

だんぜんシリカ Net 20kg

## 保証成分

く溶性 りん酸	アルカリ分	可溶性 けい酸	く溶性 苦土
3	30	16	1.5

シンカ株式会社

ポーラス状早効きケイ酸入り  
総合ミネラル土壌改良材

有機造粒

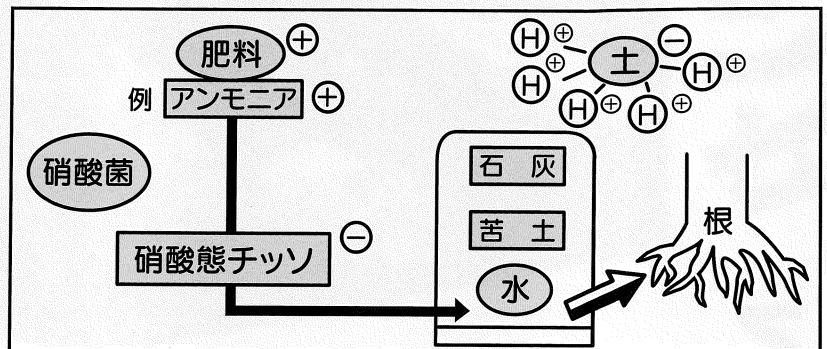
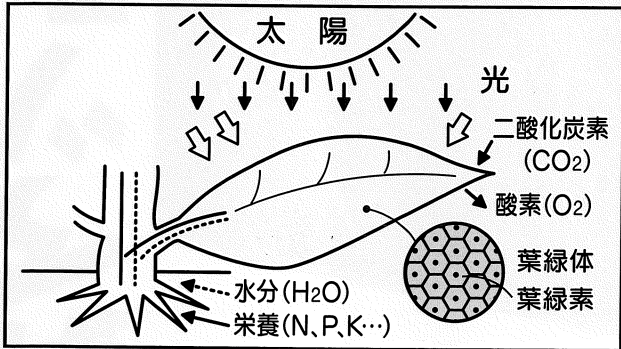
# だんぜんシリカ

リン酸 — 苦土 — ケイ酸 — アルカリ分 — 石灰  
3% 1.5% 16% 30% 20%

●特徴：

- “だんぜんシリカ”はケイ酸カルシウムの化合物を多量に含有しており、容積比が大きく(表面積1g当り約1000㎡)保肥力を増大します。結果、土壌を膨潤にしつつ作物生育を維持してくれます。
- “だんぜんシリカ”はアルカリ分30%を保証されていますので、土壌中の酸度調整をすばやく改良してくれます。又、作物にとって必要な有効成分の可溶性ケイ酸や、リン酸・苦土・石灰をバランス良く包含していますのであらゆる作物の栄養源としての役割をはたしてくれます。
- “だんぜんシリカ”は土壌中の物理性(気相、液相、固相の調和)、化学性(必須栄養分補給)を良好に保持するため土壌の有効微生物(善玉菌)の増殖を促します。
- “だんぜんシリカ”の中の有効成分ケイ酸や石灰は最近の研究で光合成作用を倍増させたり、石灰の吸収を硝酸石灰に化合させることにより早効的に確実にこなってくれることも実証されました。(下記トピックスと図解を参照)このことで作物の良品質化や多収穫が保証され、健全な生育維持が可能となりました。

●トピックスと図解



● “だんぜんシリカ”の可溶性ケイ酸は作物の根茎に有するトランスポーター(輸送機関)を通じて葉の先端まで運ばれ、葉面に付着し、これがいわゆる“ソーラーパネル”となり光合成作用を倍増することが証明されました。  
(日土肥第78号第5号 岡大・資生化研究所 馬建鋒 抜粋)

● “だんぜんシリカ”の石灰(CaO)は土壌中の硝酸菌作用によりNO<sub>3</sub>-N(硝酸態チツソ)と土壌中のH<sub>2</sub>O(水)との化学反応によって作られた硝酸石灰水(Ca(NO<sub>3</sub>)<sub>2</sub>)となって石灰は確実に吸収されることが証明されました。  
(ハウスの土壌管理 嶋田 永生著(農学博士)抜粋)

●基準施用量 (10a 当り)

水稻・麦・大豆	60kg~100kg (3~5 袋)	耕起時、全層施肥
そ 菜	80kg~120kg (4~6 袋)	元肥中心 耕起時、全層施肥
果 樹	80kg~120kg (4~6 袋)	樹木側枝下 表層施肥

詳しい使い方は販売店に御相談下さい。